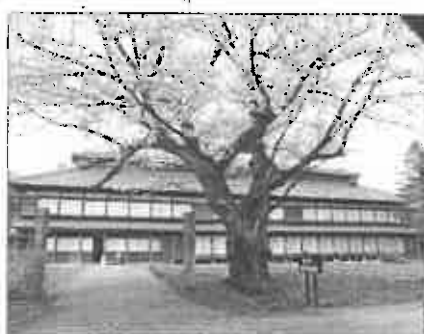


羽黒地域審議会 提言書



平成23年12月15日

はじめに

新鶴岡市が誕生して6年、平成21年1月に策定されました鶴岡市総合計画に掲げられている、新しい鶴岡市がめざす都市像「人 暮らし 自然 みんないきいき 心やすらぐ文化をつむぐ悠久のまち鶴岡」の実現に向けて、鶴岡市のまちづくりが着実に進められておりますことに、心より敬意を表するものです。

さて、私たち羽黒地域審議会委員20名は、平成22年6月に市長から委嘱を受け、3期目の羽黒地域審議会として活動してまいりました。この間、市の総合計画に基づく実施計画や行財政改革、また、羽黒地域で実施される主要事業について説明を受け協議してまいりました。

また、今期の審議会では、それぞれの地域の課題を探り、独自にテーマを設け協議することとなり、当羽黒地域では「観光地羽黒の更なるステップアップを目指して」をテーマに、これまで8回の審議会を開催し協議してまいりました。

旧羽黒町におきましては、「農業と観光の町はぐる」をキャッチフレーズに、山形県を代表する観光地出羽三山や松ヶ岡等の歴史と文化、月山麓をはじめとする中山間地の農業や景観等、数多くの資源を活かした特色あるまちづくりを行ってきました。

当審議会では、これらの資源をさらに活用し、羽黒地域だけでなく、鶴岡市全体の発展につながることを期待して、5つの項目ごとに施策をまとめ提言書と致しました。

市長におかれましては、この度の提言内容を十分ご検討され、諸施策との連携、融合を図り、地域の意見を取り入れながら、実現に向けた年次計画を作成し、羽黒支所長を中心に、責任を持って実行されますようお願い申し上げます。

最後に、この提言書を纏めるに当たり、真摯にご協議賜りました委員の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、なお一層市民全体が活気に満ち、魅力ある鶴岡市、羽黒地域となりますようご祈念申し上げます。

平成23年12月15日

鶴岡市長 榎本政規 様

羽黒地域審議会会長 佐藤 進

目 次

I 地域振興に関する提言

提言 観光地羽黒の更なるステップアップを目指して

- 1. 現状と課題 1
- 2. 提言の概要 2
- 3. 具体的な解決策・施策 4

II 羽黒地域審議会の開催状況 9

III 羽黒地域審議会委員名簿 10

I 地域振興に関する提言

提言 観光地羽黒の更なるステップアップを目指して

1. 現状と課題

羽黒地域は出羽三山の玄関口として、従来から観光地として栄えてきたが、近年は、自然志向や健康志向の観光客が増加するとともに、観光の形態についても団体型の観光から、グループ・家族型、体験型へと変化してきている。

また、「庄内映画村オープンセット」等新たな観光施設の開設や、出羽三山のミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで三ツ星を獲得した効果等もあり、新たな来訪客が増加してきている。

この機会を捉え、新たな観光ニーズに合致した観光インフラの整備や、行政と住民が連携した観光イベント等の取組み、地域産業と観光の連携による相乗効果を図る取組み等が必要とされている。

(1) 観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実

地域の歴史・文化・自然等の観光資源を効果的に情報発信する体制づくり、そのための人づくりが求められている。

(2) 観光アクセス道路の整備促進

羽黒山や月山への観光客が健康志向ブームの追い風もあって増加している。それに伴い、羽黒山バイパスの早期完成、月山公園線の部分拡幅等道路整備の促進が課題となっている。

(3) 手向宿坊街や松ヶ岡開墾場の景観整備と歴史的風致のPR

手向宿坊街や松ヶ岡開墾場における、景観形成の必要性とともに、観光客のニーズにあった施設のあり方が問われている。

(4) 映画を活用した観光振興と地域の活性化

新たな観光施設である「庄内映画村オープンセット」との連携及び共成が課題となっている。

(5) 多様化するニーズに対応する観光周遊ルート整備

地域内における周遊ルートの点検や再構築と合わせて、分かりやすい的確な誘導システムの整備が求められている。

2. 提言の概要

(1) 観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実

羽黒地域には、歴史・文化・自然等数多くの観光資源があることから、これらの資源を観光客のニーズに応じてメニュー化し、イベント等を組み合わせながら効果的に情報発信することで、さらに多くの観光客を呼び込むことが可能と思われる。

しかし、宿坊の多くは夏の短い期間しか対応できない等、羽黒地域ではこれまで休暇村や旅館はあるものの、年間を通して観光客を受け入れる体制が十分ではなかった

また、出羽三山の山岳信仰と手向地区の人達の暮らしを直接支えてきた、出羽三山講のシステムは、特に霞場や檀那場において職業や生活習慣の変化により、講中を継承することが難しくなっている。

そこで、出羽三山の山岳信仰に加えて、松ヶ岡開墾場や月山高原、玉川寺等々羽黒の豊かな観光資源を十分に活用し、それらと地域の食材や宿坊等を組み合わせた様々なイベント、いつでも郷土料理が食べられ宿泊できる通年の観光メニュー等を創出し、より多くの観光客を受け入れ地域全体を活性化させる仕組みについて、羽黒地域全体で検討し構築して行く必要がある。

また、住民自身が地域の良さをもっと理解し、誰もが観光ガイドができるといった取組みや、接客サービスの質の向上に向けた取組み等と合わせて、わかりやすい案内板や道路整備等、地域全体で訪れる人を「もてなす」といった意識の醸成が必要である。

そのためには、観光関係団体の企画調整機能や情報発信機能の拡充が必要であり、行政も含めた観光客の受け入れ体制の充実が必要である。

(2) 観光アクセス道路の整備促進

観光客の誘致と周遊、安全、景観等観光地としてのイメージアップのため、『県道月山公園線』、『映画村オープンセットへのアクセス道』の拡幅整備、『羽黒山バイパス』の早期完成等、観光アクセス道路の早急な整備が必要である。

(3) 手向宿坊街や松ヶ岡開墾場の景観整備と歴史的風致のPR

手向宿坊街は、国の重要文化財である黄金堂とその境内の建造物や、由緒ある寺院や宿坊・旧家等の歴史的建造物、冠木門と生垣、板塀が連なる門構えが多く、桜小路や自坊小路等修験道で栄えた趣ある街並みが多く残っている。

また、「秋の峰入り」では山伏の行列が宿坊街を練り歩き、「花祭り」では沿道全体に注連飾りが連なり、また、夏の宿坊では講中で訪れる白装束の道者を

山伏が先達するといった、宿坊街を舞台にした祭や人々の営みは、手向地区独特の歴史的風致を形成している。

一方、国指定史跡松ヶ岡開墾場は明治維新後、庄内藩士たちが刀を鋤に持ち替えて開墾した場所であり、明治初期に建造された瓦葺上州島村式三階建の大蚕室五棟が現存し、近代鶴岡の発展を支えた絹織産業の歴史を伝えている。

このような宿坊街や松ヶ岡の歴史的風致は貴重な観光資源であり、これらを活用した観光施策を整備しPRすることで更なる観光誘客につながる。そのためにも、無電柱化や各種看板を含めた沿道景観の修景や改善、歴史的建造物等の保全整備が必要である。

(4) 映画を活用した観光振興と地域の活性化

映画製作は、宿泊・食事・雇用等直接的な経済効果以外にも、メディアを通して地域の観光資源や特産品をPRできるほか、地域に対する愛着や誇り、撮影に参加した人たちの連携等、新たな地域づくりのステージとなることから、今後とも映画の撮影や誘致を引き続き支援する必要がある。

また、庄内映画村オープンセットと既存観光施設、及び既存観光施設間の観光連携のため、サインの整備、観光コースの整備が必要である。

(5) 多様化するニーズに対応する観光周遊ルートの整備

庄内映画村オープンセットや月山高原のひまわり畑等の新たな観光施設、松ヶ岡開墾場等を組み合わせた新たな観光周遊ルートの整備が必要である。

また、多様化する観光客のニーズに対応するため、「食」・「健康」・「自然」等のテーマ別の観光ルート、年代別のニーズに合わせた観光ルートの整備が必要である。

さらには、羽黒以外の地域と連携し、新たな周遊ルートや外国人観光客のニーズに対応する観光ルートの整備が必要である。



3. 具体的な解決策・施策

(1) 観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制の充実

① 情報発信体制の強化

- 出羽三山をはじめ数多くの観光資源をもつ羽黒地域の観光振興を地域と行政が一体となって推進するため、その実践を担う羽黒観光協会においては文化記念館の体制を強化すること。
- 松ヶ岡開墾の歴史を伝え、開墾場の魅力を高めるため、大蚕室の保存補修事業を着実に進めるとともに、情報発信を行うための学習・拠点施設の整備と開墾場周辺的环境整備を行うこと。
- 羽黒地域の観光案内所を明確にし、パンフだけでなく言葉で案内できる体制や、羽黒地域の観光地と食事場所等を掲載した大きな案内板の整備を検討すること。また、羽黒山バイパスが完成すれば月山ビジターセンター付近は観光情報の発信に最適な場所となるので、観光案内所や案内板の設置を検討すること。
- 古くなった観光看板を更新すること。また、現在の観光客の動向や観光ルートに合わせ、新たな観光案内板の整備や既存の案内板の整理統合、表示内容の変更を行うこと。
- 現在は個人や小グループの旅行者が多くなり、予約申込みはインターネットが主流となっている。また、口コミに対するフォロー等で評判が大きく違ってくことから、行政が主体となり観光関係者を対象に、ホームページの作成や操作方法、口コミへの対応等についての講習会を開催すること。

② 新たな観光資源、観光メニューの開発と商品化の推進

- 現在、都会では田舎風や田舎暮らしがブームとなっている。昔風の離れや空き家を少し整備して短期で貸し出したり、宿坊を活用したりして、気軽に2、3泊の田舎暮らしを体験するといった仕組みを検討すること。また、農家民宿も多くのニーズがあり規制も緩和されているので、これまでのグリーンツーリズムの取組みをレベルアップさせて、受け入れ体制を再構築すること。合わせて、宿泊場所から徒歩や自転車で移動し、ゆったりと体験できる観光メニューを整備すること。
- 斎館や宿坊の精進料理の他にも、地元の伝承料理や産物等の商品化を進める取組みとして、羽黒地域のお母さん達が出羽三山の祭りや様々なイベント等で出店を出したり、月山高原ふれあいハウスや活性化センター等、市の施設を活用して販売したりしながら観光客と交流する等、羽黒地域全体で観光に関わっていく方策を検討し実行すること。

○団体旅行から個人や小グループとなり、旅行者のニーズが細分化していることから、羽黒の文化遺産やロケーション、松ヶ岡開墾場でのクラフトや織物などの体験、料理や産物等多くの資源を活かした様々な観光メニューや観光ルートを整備すること。

③ より多くの観光客を受け入れる体制の整備

○出羽三山の祭りに合わせイベントを仕掛けて PR すれば、もっと多くの観光客を呼び込むことができる。その観光客を受け入れ、地域経済を活性化する仕組みの整備とその担い手づくりを行うこと。

○羽黒を訪れる多くの観光客に羽黒地域の食事処やお土産、産物等を積極的に紹介する等、もっと経済効果を上げるような施策を講じること。

○季節に応じ、祭りやイベントの PR と合わせて、その時期に宿泊できる宿坊等羽黒の宿泊情報を随時発信すること。

○宿坊を活用した観光メニューを検討するには、宿坊組合等の年配者だけでなく、現役の若い世代が集まって話し合う機会を設けること。

○手向には宿坊だけでなく旅館や休暇村があり、一人や二人でも受け入れができるので、オフシーズンのイベント開催やグリーンツーリズムでの食泊分離等、年間を通した様々な仕掛けを行うこと。

○鶴岡の絹産業の発祥の地である松ヶ岡開墾場から、鶴岡シルクに関する情報発信や関連事業を行うこと。

○日帰り温泉「ゆぽか」のサービス向上のため、競争力強化に向けた取組みを行うこと。

④ 地域全体で「もてなしの気持ち」の醸成

○観光地としてのサービスの質の向上を図るため、専門的な観光ガイドの養成を行うとともに、観光に携わる人達に対して接客業の心得等を学ぶ研修会を開催すること。

○地域全体で訪れる人を「もてなす」意識を醸成するため、子供から大人まで住民一人ひとりが地域の魅力を理解し伝えることができるように、羽黒の歴史文化や観光案内等のテキストを作成し配布するとともに、講習会等を開催すること。

○ミシュラン・グリーンガイドの効果もあり、外国人観光客が増加していることから、外国語を話せる観光ガイドを養成すること。

○観光地として訪れる人をもてなす気持ちをあらわすため、わかりやすい案内板の整備や道路整備を図ること。

(2) 観光アクセス道路の整備促進

① 月山公園線の拡幅整備の促進

○観光地への連絡道路の安全通行を確保するために、月山公園線の拡幅整備の早期実現に向け、全面的な課題箇所の検討や拡幅にあたっての調整を行い、国や県に対する要望活動を強化すること。

② 羽黒山バイパスの早期完成

○羽黒山や月山、休暇村やビジターセンター、スキー場に観光客を導く、羽黒山バイパスの早期完成を図ること。また、工事の進捗状況を随時公表すること。

③ 松ヶ岡・櫛引間の観光アクセス道路整備

○松ヶ岡開墾場と櫛引の春日神社や王祇会館を繋ぐ道路整備で、大坂山と成沢道路間の未完成部分の早急な完成等、櫛引方面から松ヶ岡等へ観光客をわかりやすく誘導する道路や道路標識、案内板を整備すること。

④ 映画村オープンセットへのアクセス道路整備

○映画村オープンセットへのアクセス道路の全線拡幅を早期に完成させること。合わせて、案内看板等のサインを整備すること。

⑤ 映画村オープンセットと国道112号線をつなぐ観光道路の検討

○映画村オープンセットと国道112号線をつなぎ、多くの観光資源を内包する鶴岡市の中山間地を結ぶ山岳道路の整備を検討すること。

(3) 手向地区や松ヶ岡開墾場の景観整備と歴史的風致のPR

① 宿坊街の無電柱化や修景による景観整備

○宿坊街の無電柱化を推進すること。

○宿坊街の景観を阻害するシャッターや車庫の修景、各種看板の整理等、沿道の景観整備を行うこと。

② 手向地区の歴史的風致のPRと保全整備

○手向宿坊街は、国の重要文化財である黄金堂や由緒ある寺院、宿坊や旧家等の歴史的建造物や、冠木門と生垣や板塀が連なる門構えが多く、桜小路や自坊小路等修験道で栄えた趣ある街並みが残り、貴重な観光資源となる

ことから、これらを活用した振興策を検討するとともに保全整備を図ること。

- 秋の峰に入峰する山伏の隊列や花祭りで沿道に連なる注連飾り、講中で訪れる白装束の道者を山伏が先達するといった手向地区特有の歴史的風致は、貴重な観光資源でありもっと PR して観光誘客につなげること。
- 出羽三山の山岳信仰と宿坊の講中のシステムは、何百年も地域の暮らしを支えてきた最大の財産であるが、生活様式の変化や少子化の中で、出羽三山の祭や霞場・檀那場との交流を継承するには、時代にあった方策を検討する必要がある。

③松ヶ岡開墾場の歴史的風致の PR と保存

- 松ヶ岡開墾場は、明治維新以後の近代鶴岡の発展の歴史を今に伝える歴史資産であることから、大蚕室の保存補修事業を着実に進めるとともに、開墾場の魅力を高めるための学習・情報発信を行う拠点施設の整備や開墾場の環境整備を行うこと。

(4)映画を活用した観光振興と地域の活性化

①「映画村オープンセット」を組み入れた観光ルートの整備

- 映画村オープンセットと既存の観光施設をつなぐ広域の観光周遊ルートを整備すること。
- 月山高原を舞台とした、映画村オープンセットと月山高原牧場、ひまわり畑等を組み合わせた観光メニューや案内板を整備すること。
- 出羽三山や映画村オープンセットを訪れるそれぞれの観光客を、お互いに取り込めるような施策を講じること。

② 庄内映画村等の映画撮影、誘致への支援

- 映画の撮影は地域の活性化につながることから、庄内映画村等の映画撮影や誘致への支援を行うこと。

(5)多様化するニーズに対応する観光周遊ルートの整備

① 新たな観光ルートの整備

- 藤沢周平記念館や庄内映画村オープンセット等の新しい観光施設には、従来と違う客層が多く訪れている。既存の観光施設やイベントを組み合わせた周遊ルートや観光メニュー等、経済効果をもたらす市の施策を県も巻き込んで早急に整備すること。

○出羽三山や映画村オープンセット、松ヶ岡等々、現在は点でしかない羽黒の観光地を線で結び、さらには庄内を一つの観光圏という面として売り出すために、広く地域が連携した観光振興を推進すること。

② テーマ別観光ルートの整備

○アンケートでは、羽黒を訪れる観光客は時間にゆとりがある中高年の夫婦や家族が多く、羽黒には観光地以外にも日常の風景や暮らしの中に都会の人が喜ぶ要素が沢山あることから、その人たちが“見たい・知りたい・歩いてみたい”と思うような、テーマ別の観光コースや体験メニューを数多く準備し提供すること。

○現在の健康志向を意識し、小道や裏道等を歩いて地元の人とちょっとした交流ができるような、歩いて楽しい観光ルートを整備すること。

○八重桜の名所として賑わう蝦夷館公園において、春だけでなく季節を通して楽しめる花壇や散策路の整備、遊具の更新を図ること。

○癒しやアートをテーマにして、松ヶ岡・今井繁三郎美術収蔵館・玉川寺等々、南部農道を通る観光ルートを整備し情報発信すること。

③ 他地域との連携による情報発信

○出羽三山を訪れる旅行者に対し、特に月山については地域によって違う接し方にならないように、月山を取り巻く地域の行政や観光協会等が連携しわかりやすく情報発信を行うこと。

○月山を取り巻く市町村の行政域を超えた観光振興に関し、民間の団体等が行政に代わって取り組む場合には、行政から財政的支援を行うこと。

○国際観光が進展し、多くの外国人観光客の来訪が見込まれることから、他地域と連携して外国人観光客のニーズに対応した情報発信やルート整備を行うこと。

II 羽黒地域審議会の開催状況

平成22年度

回数	開催日	内 容
第1回	7月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度予算及び主な事業の概要について ・地域課題調査等の取組みについて ・地域審議会協議テーマについて
第2回	9月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域審議会協議テーマについて ・慶應義塾大学先端生命科学研究所出張出前講座 ・松ヶ岡開墾場・庄内映画村オープンセット現地調査
第3回	11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ実態調査の実施状況と課題について ・鶴岡市総合計画実施計画の策定について ・協議テーマ『観光地羽黒の更なるステップアップを目指して』について
第4回	2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・協議テーマ『観光地羽黒の更なるステップアップを目指して』について

平成23年度

回数	開催日	内 容
第1回	5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革について ・平成23年度予算及び主な事業の概要について ・協議テーマ『観光地羽黒の更なるステップアップを目指して』について
第2回	8月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・講演『観光地羽黒の更なるステップアップを目指して』 ・協議テーマ『観光地羽黒の更なるステップアップを目指して』について
第3回	10月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革における地域庁舎の見直しについて ・協議テーマ『観光地羽黒の更なるステップアップを目指して』に係る提言書について
第4回	11月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市総合計画実施計画について ・鶴岡市国土利用計画について ・協議テーマ『観光地羽黒の更なるステップアップを目指して』に係る提言書について

Ⅲ 羽黒地域審議会委員名簿

任期：平成22年6月10日～平成24年6月9日

役職	所属団体・役職名等	氏名	備考
会長	羽黒区長会 会長	佐藤 進	H23.5.24～
副会長	羽黒町観光協会 副会長	斎藤 一	
委員	羽黒町老人クラブ連合会 会長	林 茂生	
委員	羽黒体育協会 会長	太谷 眞一	
委員	羽黒地区民生児童委員協議会 会長	高田 志郎	H22.12.1～
委員	学校法人 羽黒学園 顧問	金野 信勇	
委員	松ヶ岡開墾場 理事長	山田 鉄哉	
委員	出羽商工会 代表理事	山田 勝実	
委員	地区公民館 広瀬地区公民館長	齋藤 良幸	H23.5.24～
委員	JA 庄内たがわ 理事	山口 平	
委員	羽黒町婦人会 会長	小南 孝子	H23.5.24～
委員	出羽三山神社 禰宜	阿部 良一	
委員	鶴岡市消防団羽黒方面隊 隊長	富樫 篤	
委員	NPO法人蜂鼓山社中 理事長	星野 博	
委員	正善院 住職	島津 慈道	
委員	農業	本間 信一	
委員	コミュニティハウス草笛の家 所長	天野 俊秀	
委員	(株)ジェイファーム 専務理事	庄司 祐子	
委員	佐藤バラ園	佐藤 繁明	
委員	宿坊「桜林坊」	梅津 久美	

前委員

所属団体・役職名等	氏名	備考
羽黒区長会 会長	寒河江健二	H23. 5.23 退任
羽黒地区民生児童委員協議会 会長	岡部 紘	H22.11.30 退任
地区公民館 手向地区公民館長	加藤健次郎	H23. 5.23 退任
羽黒町婦人会 会長	土岐 智子	H23. 5.23 退任